



学校法人 狭山ヶ丘学園

狭山ヶ丘高等学校附属中学校

SAYAMAGAOKA AFFILIATED JUNIOR HIGH SCHOOL



学	校	案	内	2	0	2	7
---	---	---	---	---	---	---	---

SCHOOL GUIDE 2027



沿革

昭和25年 4月 近藤ちよ 飯能高等家政女学校を飯能町（現飯能市）に開校

昭和35年 4月 「学校法人 狭山ヶ丘高等学校（男女共学）」として入間市の現在地へ移転開校

昭和40年 3月 NHKテレビ「現代の映像」にて内観教育が全国に放映される

昭和58年 6月 茶室「悠久庵」完成

昭和59年 5月 近藤ちよ 自己観察教育の確立および私学教育への貢献が認められ勲四等瑞宝章を受章

平成 8年 11月 小川義男 校長に就任
木下 宏 学園理事長に就任

平成15年 7月 小川義男編、教職員共著による「あらずじで読む日本の名著」出版（80万部）

平成16年 5月 （旧）西武ドームでの体育祭を開始（～現在）

MESSAGE



学校法人 狭山ヶ丘学園 理事長 齊藤 正明

本学園は、創設者近藤ちよ先生が飯能高等家政女学校を母体とし、昭和35年4月に学校法人狭山ヶ丘高等学校としての認可を受けて入間市の現在地に移転開校されました。その後、法人名称を学校法人狭山ヶ丘学園と改称して今日に至ります。昭和、平成、令和と時代は過ぎていきましたが、学園の益々の発展のため今後とも努力していく所存です。

急速に変化する現代社会において、学校教育は学校のなかだけで完結するものではなく、「校外」との協力が重要であると認識しています。「より良い学校教育を通じてより良い社会を創る」という目標の達成を目指し、学校と社会が連携して協働しながら生徒たちを育てていくことが求められます。家庭や地域、NPOや企業など学校外からの協力も得て、実社会からの学びを通じて生徒たちが幸福な人生を送り、より良い社会の担い手となることができるよう取り組んで参りたいと思います。



学校法人 狭山ヶ丘学園 校長 関口 恭裕

10年後、20年後、50年後、社会はどのように変化し、皆さんはどのような人生を送っているのでしょうか。実はこれまで生きてきた誰にとっても将来は不確定で不透明だったと思います。

過去にもオイルショック、ベルリンの壁崩壊、ソビエト連邦の解体、インターネットやスマートフォンの普及、新型コロナウイルスのパンデミックなど想定外のことが起こってきました。

皆さんが活躍する時代は、科学技術や工業技術の発展によるIT化の更なる進展、人工知能の開発やそれを使ったロボットや自動運転、そしてドローンや空飛ぶ自動車の活用や普及による運輸・配送システムの変革、そして大国の国際秩序を無視した行動による国際関係の流動化、少子化に伴う縮小社会の急速な進行などが見られる社会かもしれません。

本校は「事にあたって意義を感じよ」を校訓として、困難に立ち向かい、自らの将来を切り拓いていく為にやらなければならないことを自ら進んで行おうとする力の育成に取り組んできました。

皆さんが自らの能力を発揮して社会で活躍する人となるよう、勉学はもちろんのこと、学校行事、部活動を通じて思考力、判断力、表現力、主体的に行動する力をさらに伸ばし、自己を磨き成長する教育を展開してまいります。多くの方の入学をお待ちしております。

平成22年 3月 新校舎3号館完成
4月 小川義男 埼玉県私立中学高等学校協会会長就任
(～令和4年4月)
6月 狭山ヶ丘高等学校創立50周年
平成25年 4月 狭山ヶ丘高等学校付属中学校開校
平成26年 3月 狭山ヶ丘学園総合グラウンド完成および
新体育館完成

平成27年 3月 新校舎2号館完成
平成29年 11月 小川義男 瑞宝小綬章を受章
令和2年 6月 総合グラウンドに新管理棟完成
8月 小川義男 学園理事長を兼任
令和8年 3月 齊藤正明 学園理事長に就任
5月 関口恭裕 校長に就任

教育目標 基礎的学力応用力に熟達し、豊かな教養を身につけた人材を育成する

2013(平成25)年に開校した本校は、今年で14年目を迎えました。この間、様々な試行錯誤や工夫を重ねながら狭山ヶ丘高等学校附属中学校の教育は形づくられてきました。

本校では、学習指導要領上の標準時数を超える豊富な授業時間を確保しておりますが、高等学校の教育課程の先取り学習については無理のない程度にとどめ(国語、数学、英語で先取り学習を実施)、中学校課程の学習内容を徹底的に理解することを目指しています。そのための工夫の一つとして、曜日ごとに教科を決め、帰りのH Rの時に小テストを行っています。毎日、自分の理解度を確認していくことを通じて、基礎学力の定着と向上を図っています。また、本校の授業を担当する教員はほとんどが高等学校の授業も担当しています。これは、大学入試にむけての教科指導を行っている教員が中学校の授業も担当していることを意味します。中学校の学習内容も大学入試に直結するものです。そのことを念頭において授業が展開されていることも、本校の教育の特徴の一つです。

学力向上においては、自学自習が決定的に重要です。生徒たちは、授業やテストを通じて自分の学習課題を認識するようになりますが、これらに自主性、主体性をもって取り組むことは学力を向上させるうえで何よりも大切なことなのです。したがって、本校では中学校の図書館に自習室を併設し、生徒が校内でも十分に自学自習に励めるように施設を整えています。さらに、リクルートの学習支援アプリ「スタディサプリ」も導入しています。このアプリは映像教材や確認テストが充実しており、生徒の自学自習態勢が一層充実していくものと確信しております。

従来型の、座学において知識を蓄積していく「受動的」な学習の重要性は、中学校段階ではこれからも変わらないと思います。しかし、知識や技能を活用して、自ら課題を発見してその解決に向けて探究する能力を身につけたり、主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度を養ったりすることは、これからの社会を生きていく子どもたちへの学校教育にとって必須です。本校では、各授業においてグループワークを積極的に取り入れ、対話的で深い学びの実践に工夫をしています。さらに3年次では、年間を通じて自ら決めたテーマについての研究を行い、論文執筆、ポスターセッションに取り組みます。この取り組みを通じて、生徒たちは「正解のない問い」に対する解決法を模索する思考力や、他者に対して自らの考えを論理的に伝える表現力などを養っていきます。

また、座学での授業や探究活動以外にも、本校では様々な体験学習を行っています。1、2年次で行っている農作業では、作物を育て、収穫するという経験をします。また、収穫物を自宅に持ち帰って食べるという経験も子どもたちにとっては重要な経験でしょう。実物で学ぶことで、インターネットや図鑑などで学ぶこととは違う「何か」を感じることができるはずです。その他、軽登山や、理科実習、社会科見学として実施している校外学習など、様々な機会を通じて現地に赴き、生徒に多くの体験をさせています。加えて、校外での活動は班別行動で実施することが多いので、このことを通じてコミュニケーション能力や仲間と協働していく姿勢といった、実社会で重要視されている能力も育成されます。

「人間に生まれつきの能力差はない」というのが本校の信念です。本校における様々な活動、体験を通じて、自らの可能性を大きく広げていきましょう。多くの方が入学してくださることを楽しみにしています。



創立者
近藤 ちよ
[1913~1996]

校訓

事にあたって意義感を
あゆむ



付属中学校の教育

学校行事

健全な人間関係と連帯感を育む

学校行事は、健やかな人間関係を形成する大切な機会です。各種行事に主体的に取り組むことで、仲間と共に喜びや苦勞を共有しながら連帯感や公共の精神を育成し、よりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度や創造力を育みます。



勉学

可能性を伸ばし、世界を広げる

知識の獲得は全ての物事の基盤であり、そこから育まれる広い視野や豊かで論理的な思考力は、自らの可能性を伸ばし、世界を広げる貴重な力となります。また、その中で醸成される継続力や自己管理能力などは、社会で活躍するうえで必要不可欠な能力です。



探究活動

社会を理解し、自己理解を深める

様々な探究型活動を通して社会と自己の両面を深く理解することにより、自分の将来を明確に見通すことができます。また、仲間と目標や課題を共有し、その達成に向けた活動の中で修得する協調性やコミュニケーション力、課題解決力は、生涯必要となる資質・能力です。



自己観察教育の3つの柱

開校以来、本校は心の教育「内観」を重視してきました。「内観」とは、自己を見つめ今までお世話になった父母・先生・友人など身近な人との交流を思い出し、本来あるべき自己の姿に気づくことを主眼としています。

時代とともに生徒数も増え、学力も大きく向上したことから、この内観の精神を、本校の現状に適應するように発展させたものが、本校で実践している自己観察教育です。沈思黙考し、自らの生き方を深く考えさせるこの取り組みこそ、躍進を続ける本校の進学実績の基となっています。自己観察教育は、大きく3つの柱に分けられます。

茶道

心身の動と静を育む茶道教育

日本の伝統文化である茶道。その基本的精神である「和敬清寂」の心は、本校の教育理念と通じます。また、高校3年生になると週1回茶道の授業を受け、和敬清寂の精神を体得するとともに、社会人として必要となる豊かな人間性と国際性を培います。



黙想

内省力を育む黙想教育

授業の始めに目を閉じ、心を集中させ、テーマに従って黙想します。黙想という単純な動作ですが、これを6年間続けているうちに、集中力がつき、自分を律する強さを身につけるとともに、将来の自分の進むべき道、生き方を見定められるようになります。



対話

コミュニケーション力を育む対話教育

教師と生徒、また生徒同士が学校生活全般で温かい対話の場を持つように心掛けています。特にクラスや部活動という同一の場で同じ目標に向かう者同士が切磋琢磨し合い、言葉がけを大切にすることで、相互友愛の心を身につけることができます。



人は、好きなことばかりして人生を生きることではできません。たとえやりたくないことであっても、やるべきことややらねばならないことに、どれだけエネルギーをつぎこむことができるかによって評価されるのです。

皆さんにとり、日々の学習一つ取り上げても辛いことや苦しいこと、あまり気乗りしないことなど少なくないことでしょう。しかしこれも逃げ腰になるのではなく、この限られた時間の中で最大のものを吸収しようとする姿勢で臨めば、授業は苦役から喜びに変貌するはず。やらねばならぬことを自ら進んで行おうとすること、それが「事にあたって意義を感じよ」ということなのです。

本校が授業開始前に、毎時間ごとに行っている黙想もその一つです。黙想に意義を感じ、これを毎時間、己を見つめ直すことに用いたならば、皆さんはその中から計り知れないほどの多くのものを獲得することができるよう。師に学び父母に学んで、人は成長していきますが、しかし、人は遂に自ら自身に学ぶ以外には生きていくことができない生き物です。この意味で、常に黙想に意義を感じ、自身を観察し続ける人間として成長していかください。

生徒一人ひとりの“夢”を叶える“狭山ヶ丘学園の6年

社会に貢献し、人々を導く“真のリーダー”を育成するために

難関国公立大学等への現役合格を目指し、充実した学習支援体制を整えています。しかし、単に大学進学のためのノウハウのみに終始するのではありません。むしろ、人としての基礎・基盤をしっかりと身につけることに重点を置いて指導しています。周囲の人に対する感謝や思いやりの心を育むこと、身体を鍛錬し逞しさを身につけること、自然に対する畏敬の念を持つこと、真理を追究する好奇心を持つこと、美しいものに感動する心を醸成すること、不正に対して毅然とした姿勢をとること、人生を前向きに歩んでいく姿勢を持つことなど、本校の伝統である“自己観察教育”を土台として、幅広い教育活動を実践しています。



指導方針	中学1年生	中学2年生	中学3年生
	基礎力充実期	基礎力充実期	学力
	生活習慣・学習習慣の確立 中高6年間で確実に学力を向上させるためには、机に向かって学習する習慣を身につけることが肝心です。本校では、朝ゼミや小テストを定期的に実施し、生徒が計画的に学習できる環境を整えるとともに、その根源である“学ぶ楽しさ”を感じられるように工夫しています。	自己理解・他者理解の向上と確かな学力の確立 受け身な状態での学習は、たとえある程度の知識が身についたとしても、本物の“学力”にはなりません。中学1年次に確立した学習習慣・生活習慣を、より主体的な姿勢で行えるように、自己理解や他者理解を深めながら向上させていきます。	社会理解・高等学校課程の基礎学力養成 自己理解によって深めた様々な興味関心を、研究(探究)活動を通じて更に具体化させていくとともに、他者に向けた表現力・発信力を高めます。また、高等学校の学習内容にも徐々に触れ、必要となる基礎学力を着実に養成していきます。
授業・進路指導	- 標準時数を上回る授業時数(主要5科) - 習熟度別授業の展開 - 朝ゼミ / 放課後ゼミ / 英検対策講座 - 習熟度確認小テスト(SHR時) - 夏期講習 / 冬期講習 - 学力推移調査(4月・9月・1月) - 進路ガイダンス - 卒業生による進路特別指導	- 標準時数を上回る授業時数(主要5科) - 習熟度別授業の展開 - 朝ゼミ / 放課後ゼミ / 英検対策講座 - 習熟度確認小テスト(SHR時) - 夏期講習 / 冬期講習 - 学力推移調査(4月・9月・1月) - 進路ガイダンス - 卒業生による進路特別指導	- 標準時数を上回る授業時数(主要5科) - 習熟度別授業の展開 - 朝ゼミ / 放課後ゼミ / 英検対策講座 - 習熟度確認小テスト(SHR時) - 夏期講習 / 冬期講習 - 学力推移調査(4月・9月・1月) - 進路ガイダンス - 卒業生による進路特別指導 - 入試体験
探究型活動・その他	- 農作業 - 理科実習 - 校外学習 - 東京大学主催金曜特別講座 「〇〇の歴史」調べ学習・発表 - 英語スピーチコンテスト(音読) - 合唱コンクール - 芸術鑑賞会 	- 農作業 - 理科実習 - 校外学習 - 東京大学主催金曜特別講座 「SDGs」調べ学習・発表 - 英語スピーチコンテスト(暗唱) - 合唱コンクール - 芸術鑑賞会 	- 理科実習 - 校外学習 - 東京大学主催金曜特別講座 - オリジナル英語劇 - 論文執筆・ポスターセッション - 英語スピーチコンテスト(オリジナル英作文暗唱) - 合唱コンクール - 芸術鑑賞会 - 課題研究・発表(理科) 
	- 生活の記録 - SNS指導 - 交通安全指導 - 人権教育 	- 生活の記録 - SNS指導 - 交通安全指導 - 人権教育 ・宿泊研修	- 生活の記録 - SNS指導 - 交通安全指導 - 人権教育 ・修学旅行

語学研修

夏季休業期間等を活用して行われる

教育体制”

Plan

目標や目的を明確に持ち、その達成に向けて、どのような行動が必要か、いつまでに実行するかといった具体的な予定や課題を洗い出すこと。

●主体性
●計画性

Do

計画や戦略を構想で終わらせるのではなく、継続性を持って行動に移し、目標達成へと自身を導くこと。

●実行力 ●継続力
●自己管理能力

Check

自身の行動および生じた結果を多角的な視野で確認し、振り返りを通して次に繋がる課題や学びを得ること。

●思考力
●分析力

Act

振り返りによって得た課題や学びを活かし、目標設定や計画について更なる改善へと繋げること。

●判断力 ●表現力
●改善力

高校 1 年生

進路実現期

自己の将来を展望
～学問研究・職業研究～

目標が明確であればあるほど、自身の行動に対するモチベーションは高まります。高校1年次では、自分の将来について深く思いを巡らせ、様々な職業について学ぶとともに、自分の適性に合わせた納得の文理選択および学部学科選択が行えるように、特に学問研究に力を注ぎます。

- 標準時数を上回る授業時数
- 朝ゼミ / 放課後ゼミ
- 夏期講習 / 冬期講習
- 進路ガイダンス (6月・11月・1月)
- 文理選択ガイダンス (5月・7月)
- 適学・適職診断
- オープンキャンパスレポート
- 東京大学キャンパスツアー (希望制)
- 模擬試験 (4月・9月・10月・1月)
 - 校内実力テスト (1月)

校外学習
芸術鑑賞会
総合的な探究の時間

例) 2025年度
持続的に稼ぐ地域であり続けるための取り組み
市民の健康維持・増進に関わる取り組み
循環型社会の形成に関わる取り組み
Chromebook を使用したスライド作成・発表

- スキー教室
- SNS指導
- 交通安全指導

高校 2 年生

進路実現期

志望大学・学部への決定
高い目標と学力の伸長

高い目標を設定することは、努力の度合いを向上させ、結果的に資質や能力を著しく伸長させる要素となります。失敗を恐れ、自分の可能性を安く値踏みするのではなく、高い第一志望大学を設定し、その実現に向けた具体的な対策に取り組んでいきます。

I類 文系A / 理系A

II類・III類 文系A / 理系A
文系B / 理系B

- 標準時数を上回る授業時数
- 朝ゼミ / 放課後ゼミ
- 文理選択に合わせた授業展開
- 習熟度別授業の展開 (数学)
- 夏期講習 / 冬期講習
- 進路ガイダンス (6月・11月・2月)
- 進路特別指導 (12月・3月)
- オープンキャンパスレポート
- 東京大学キャンパスツアー (希望制)
- 模擬試験 (4月・5月・9月・10月・1月・2月)
 - 校内実力テスト (1月)

校外学習
芸術鑑賞会

海外修学旅行 SNS指導
薬物指導 成年年齢前指導

高校 3 年生

進路実現期

志望校合格に向けた
強い意志と挑戦心

挑戦の機会があるということは、実はとても恵まれた環境です。人としての“器作り”である学生時代に、高い目標に向けて努力し、時に成功や失敗を味わいながらも創意工夫した期間こそ、人の能力を最大限に引き出す貴重な時間なのです。大学受験を通じて、そのような“人生の財産”を培います。

I類 文系A / 理系A

II類・III類 文系A / 理系A
文系B / 理系B

- 標準時数を上回る授業時数
- 朝ゼミ / 放課後ゼミ
- 文理選択に合わせた授業展開
- 習熟度別授業の展開 (数学)
- 夏期講習 / 冬期講習
- 進路ガイダンス (5月・11月)
- 推薦入試ガイダンス
- 面接試験ガイダンス
- 大学入学共通テストガイダンス
- 防衛大学校 / 防衛医科大学校ガイダンス
- 大学入学共通テストトレーニング
- 面接試験対策指導
- 小論文対策指導
- 志望理由書添削指導
- 模擬試験 (5月・5月・9月・10月・10月・10月)
- 校内実力テスト (9月)

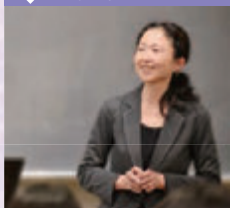
茶道授業 (週1回)
芸術鑑賞会

SNS指導

海外短期留学プログラムを実施しています。

難関大学合格を実現する狭山ヶ丘学園の教育方針

英語



綾部 美和子

英語科では4技能(読む、聞く、書く、話す)を総合的に伸ばすことを目指して指導を行っています。日々の授業の中で教科書を徹底的に理解しながら、小テストや講習なども活用することで語彙力や表現力を着実に伸ばしていきます。特に、単語テストは合格するまで丁寧に指導するなど語彙力の教科に力を入れています。中学校の3年間で、最難関大学への合格を可能とする英語力の土台を作ります。

国語



河野 展寛

国語では、言語知識、読解力と記述力が欠かせません。辞書を用いた学習や小テストの実施、言語知識を土台として文章構造を丁寧に読み取る授業など展開し、確かな学力を養成します。また、興味を広げるための年間を通した読書指導や古典作品に慣れ親しむための音読、中学書き初め展の開催など「国語好き」になる働きかけも重視しています。

数学



中角 元

数学は、代数と幾何に分けて授業を行います。代数では、基本的な計算力だけでなく、数の広がりや方程式・関数の意義を理解し、問題解決能力を養うことを主眼に展開します。幾何では、図形の基本性質から様々な定理を自ら気づかせることで、論理的な思考力や表現力を学べるように工夫しています。

理科



鈴木 寛人

理科では、身近に起こっている自然現象を観察や実験によって理解し、経験・体験的な知識を蓄積することで、未知の現象や事柄を考察し推測できる思考力を養います。中学校は自然科学学習の前段階と位置づけ、物理・化学分野を扱う「理科A」、生物・地学分野を扱う「理科B」の2つに分けて、各分野の中核となる基本の考え方の習得を目指します。

社会



福田 怜央

社会科では様々な事象に対する多角的な考察を重視した授業を展開しています。特に、座学で得た地理・歴史・公民分野の知識を、校外学習に活かす取り組みを行っています。各フィールドワークにおける課題を授業で得た知識をもとに各自で設定し、フィールドワーク後には報告書を作成するなどして、他者への発信力の育成にも取り組んでいます。

中学校カリキュラム

6 年を見通した効率よく、密度の高い独自のカリキュラムのもと、基礎学力の徹底を図ります。学習指導要領を超える豊富な授業時数を活かし、英語・数学・国語においては、無理のない先取り授業を展開し、高等学校で学ぶ内容への橋渡しをします。

中学校		1 学年	2 学年	3 学年
	() は標準単位数			
国語	国語・書写	5 (4)	5 (4)	5 (3)
	社会	4 (3)	4 (3)	5 (4)
数学	代数	3	3	3
	幾何	2	3	2
	合計	5 (4)	6 (3)	5 (4)
理科	第1分野(理科A)	2	2.5	2.5
	第2分野(理科B)	2	2.5	2.5
	合計	4 (3)	5 (4)	5 (4)
保健体育	体育	2	2	2
	ダンス・合気道・保健	1	1	1
	合計	3 (3)	3 (3)	3 (3)
音楽	音楽	1.5 (1.5)	1 (1)	1 (1)
美術	美術	1.5 (1.5)	1 (1)	1 (1)
外国語	英語	5 (4)	5 (4)	5 (4)
技術・家庭	技術分野	2	2	1
	家庭分野	(2)	(2)	(1)
道徳	道徳	1 (1)	1 (1)	1 (1)
特別活動	特別活動	1 (1)	1 (1)	1 (1)
総合的な学習の時間		2	2	2
農作業・進路学習・その他		2	2	2
週当たり時間数		35	36	35

※このカリキュラムは2027年度入学生のものです。

大学合格実績 合格実績が示す“狭山ヶ丘の育成力”

狭山ヶ丘高等学校附属中学校は、平成25年に開校し、今年で14年目を迎えたばかりの「新興私立中学校」です。本校の6年教育を受け巣立っていった卒業生は、8期、人数にして380名程度しかおりません。しかしながら、すでに“**東京大学現役合格者を4名輩出**”し、その他にも難関国公立大学、最難関私立大学、医学部等に数多くの合格者を送り出しています。

※卒業生全体(267名)

2026年度 合格実績全体

●国公立 ……27名 ●早慶上理 ……15名
●GMARCH ……92名 ●成成明学獨國武…59名

2026年度 合格実績 [現役/既卒]※41名卒業(第8期生)

一橋大学 [0/1]	防衛大学校 [1/0]	立教大学 [3/0]	獨協大学 [1/0]	東京都市大学 [4/0]
東北大学 [1/0]	国公立大学合計 11 [10/1]	中央大学 [6/1]	成成明学獨合計 11[11/0]	工学院大学 [2/0]
筑波大学 [1/0]	早稲田大学 [2/0]	法政大学 [4/1]	日本大学 [5/1]	東京農業大学 [2/0]
千葉大学 [1/0]	慶應義塾大学 [2/1]	学習院大学 [1/0]	東洋大学 [7/0]	津田塾大学 [2/0]
電気通信大学 [1/0]	上智大学 [1/1]	GMARCH 合計 21 [18/3]	駒澤大学 [3/0]	東京女子大学 [1/0]
埼玉大学 [2/0]	早慶上合計 7 [5/2]	成蹊大学 [2/0]	日東駒合計 16[15/1]	日本女子大学 [3/0]他
信州大学 [2/0]	明治大学 [3/1]	成城大学 [3/0]	芝浦工業大学 [2/0]	
公立諏訪東京理科大学[1/0]	青山学院大学 [1/0]	明治学院大学 [5/0]	東京電気大学 [1/0]	

私立四年制大学
総合計 113

2025年度 合格実績

●国公立 … 6名 ●早慶上理 … 1名 ●GMARCH … 8名 19名卒業(第7期生)

2024年度 合格実績

●国公立…13名 (東大2名含む) ●早慶上理…17名 ●GMARCH…13名 39名卒業(第6期生)

2023年度 合格実績

●国公立…11名 (東大1名含む) ●早慶上理 … 7名 ●GMARCH…17名 37名卒業(第5期生)

2022年度 合格実績

●国公立…10名 ●早慶上理 … 9名 ●GMARCH…24名 60名卒業(第4期生)

2021年度 合格実績

●国公立 … 7名 ●早慶上理…18名 ●GMARCH…27名 58名卒業(第3期生)

2020年度 合格実績

●国公立 … 8名 (東大1名含む) ●早慶上理 … 7名 ●GMARCH…10名 74名卒業(第2期生)

2019年度 合格実績

●国公立…13名 ●早慶上理…12名 ●GMARCH…28名 53名卒業(第1期生)

卒業生からのメッセージ

早稲田大学教育学部教育学科教育学専攻教育学専修

岡崎 郁紀(第8期生)

入間市立狭山小学校出身



私は教育学、国際関係学、言語学など幅広い分野に興味があり、関心のある分野を学びながら将来の選択肢を幅広く持つことができる点に魅力を感じ志望しました。受験に向けては模試の結果をもとに苦手な分析し、底上げを徹底しました。また、得意科目に関しては絶対的な強みとなるように早期から過去問対策に取り組みました。大学受験を終えてみて感じるのは、“受験は成長の機会”だということです。長期間一つの目標に向かって真摯に努力し続けるという経験は、その後の人生において困難を乗り越えるための力になるはずです。また、受験期は一人になる時間が多く、不安やストレスを溜め込みがちです。不安で勉強に手がつかなくなるといった悪循環を防ぐためにも、周りを頼りながら自分の努力を信じて全力で挑んでください。皆さんの受験が実りあるものとなるように心から願っています。

卒業生からのメッセージ

千葉大学 法政経学部 法政経学科

茂木 結実(第8期生)

入間市立藤沢東小学校出身



学校行事がとても豊富で、特に文化祭や体育祭などは高校生と一緒にやられるため、賑やかでとても楽しかったです。また、高校生と同じ環境で生活する中で、大学進学や将来について身近に考えることができたと感じています。大学に合格した先輩方のお話を聞く機会があり、勉強へのモチベーションにも繋がりました。朝ゼミや夏期講習では、自分の目標に合った講座を選択することができるため、基礎から発展まで幅広く学ぶことができました。さらに、中学・高校それぞれに専用の自習室が設置されており、放課後も落ち着いた環境で勉強することができるため、自学自習の習慣を自然と身につけることができました。先生方のサポートも手厚く、分からないところも気軽に質問することができるため、充実した学習環境が整っていると感じています。私は狭山ヶ丘高等学校附属中学校に入学して、充実した6年間を過ごすことができました。

自学自習の姿勢を確立する学習支援体制

朝ゼミ・放課後ゼミ

- 授業+αの学習で着実に実力アップ! ●

朝ゼミは7時20分から、放課後ゼミは放課後にそれぞれ開講しています。教科は、英語、数学、国語の3教科です。学年に応じてクラスをレベル別に展開して行われています。



開講ゼミ一覧

1年	2年	3年
英語ゼミ	英語ゼミ(α) 英語ゼミ(β)	英語ゼミ(発展)
数学ゼミ(α) 数学ゼミ(β)	数学ゼミ(α) 数学ゼミ(β)	数学ゼミ(α) 数学ゼミ(β)
国語ゼミ	国語ゼミ(α) 国語ゼミ(β)	国語ゼミ(α) 国語ゼミ(β)

生活の記録

- 計画力・反省力・改善力の向上 ●

何を成し遂げるにしても基本となるのは「自己管理能力」です。自らの行動や学習の計画を立てるにあたって、まずは実際に行ったことを振り返ることが大切であり、本校では毎日、「生活の記録」に取り組んでいます。それに教員が目を通し、コメントを書くことで生徒の活動に対してアドバイスを送るとともに、それ自体が大切なコミュニケーションの場となっています。



小テスト

- 学習習熟度の確認と成功体験の蓄積 ●

小テストは、学力の定着を図るために全学年で実施されています。授業内だけではなく、帰りのホームルームでも行われるため、授業で学んだ内容を復習するための良い機会になっています。



▼▲▲▲▲ 帰HR時(約10分)(例) ▼▲▲▲▲

月	火	水	木	金
英語	国語	理科	社会	数学

夏期講習・冬期講習

- 無料で開講される長期講習 ●



本校では、長期休業期間中にも豊富な学習機会が用意されています。夏季休業期間中(7月下旬(10日程度)、8月下旬(10日程度))の計約20日間という充実した期間で行われる夏期講習は、英語・国語・数学の3教科が1コマ80分で実施されます。応用クラスと基礎クラスなどに分かれており、基礎の復習から発展問題演習まで、レベル毎に行われることで生徒一人一人に合った学習を提供しています。冬季休業前に行われる冬期講習は約4日間の短期間で実施され、模擬試験の過去問題等を扱って試験本番の実践力を養成するプログラムを組んでいます。講習は、本校に在籍する教員が担当し、受講は全て無料です。

検定試験対策講座

- 大学入試を見据えた検定試験への積極的挑戦 ●

本校では英検対策講座を開講しています。英語科の教員が各級の問題を細かく分析し、試験でよく出題される問題の解き方を一から指導します。また、自分ひとりではなかなか取り組むことの難しい面接指導も行っています。

ゼミは開講されていませんが、国語科、数学科でも検定試験を推奨しており、対策用の教材がいつでも生徒の手に届くよう、教室や職員室に用意されています。



開講ゼミ一覧

1年	2年	3年
英語ゼミ(α)	英語ゼミ(α)	英語ゼミ(α)
英語ゼミ(β)	英語ゼミ(β)	英語ゼミ(β)
数学ゼミ(α)	数学ゼミ(α)	数学ゼミ(α)
数学ゼミ(β)	数学ゼミ(β)	数学ゼミ(β)
国語ゼミ(α)	国語ゼミ(α)	国語ゼミ(α)
国語ゼミ(β)	国語ゼミ(β)	国語ゼミ(β)

卒業生による進路特別指導



中高一貫校の最大のメリットのひとつに、本校を卒業した“優れた先達”からたくさんのアドバイスをもらい、自身の進路選択および決定に活かせるという点があります。「進路特別指導」と称し、OBOGによる進路講演会を実施しており、先輩方の実際の受験体験談や大学生活のリアルな話を聞くことで、大学・学部・学問に関する知識や理解を深め、自らの第一志望校合格に向けた良い流れを具体的にイメージすることができるようになります。

学力推移調査の実施

定期的な学力調査で学習定着度と成長を確認

2025年度 学力推移調査[3科] 過去回比較

中学3年 中学1年1回 → 中学3年3回		偏差値+8.1ポイント↑	埼玉県 1位/17校	1都3県 2位/107校
中学2年 中学1年1回 → 中学2年3回		偏差値+6.7ポイント↑	埼玉県 1位/21校	1都3県 1位/127校
中学1年 中学1年1回 → 中学1年3回		偏差値+7.2ポイント↑	埼玉県 1位/20校	1都3県 1位/128校

本校では各学期に1回ずつ、年間計3回の学力推移調査を実施し、自身の学習習熟度を確認しながら、綻びのある教科や範囲に対して丁寧にアプローチすることで着実に学力を伸ばしています。実際に、学力推移調査による学年全体の偏差値ポイントの上昇率が県内トップレベルを維持し続けており、生徒の学力を着実に伸ばしていることが実証されています。

自学自習の姿勢の確立を実現する充実の学習室

中学専用図書室・特別自習室



本校は中学校専用の図書室・自習室を完備しています。最終下校に合わせ、4月～9月までの夏期は19:00、10月～3月までの冬期は18:00まで、自由席で利用することができます。隣に職員室もあるため、わからないことがあったら先生にすぐ質問ができます。

図書室・自習室では、授業の予習や復習に集中して取り組めるよう、私語や飲食禁止を徹底し、学習環境を整えています。また、多読用の洋書も取り揃えており、様々な学習活動に用いることができます。

生徒の声

2年1組 鈴木 理央（瑞穂町立瑞穂第二小学校出身）

自習室はとても静かで、集中できる空間です。周りの人が一生懸命勉強している姿が目に入ると、自然と自分も頑張ろうと思えます。たくさんの本も置いてあるので自習以外の目的でも、気軽に利用できます。

生徒ホール



2号館1階にある生徒ホールは、放課後は全校生徒に開放され、最終下校の時間まで自由に利用することができます。図書室兼特別自習室は、分けられた専用キャレルを用いて静かに集中して学習する場合のに対して、生徒ホールは飲食も自由となっており、陽光降り注ぐガラス張りの開放的な空間の中で、活発に議論を交わしながら課題やグループワークなどに取り組む姿が見られます。また、教員が立ち寄ることもあり、生徒の輪に入って質問に答える姿なども多く見られます。

生徒の声

3年1組 藤原 綾子（入間市立仏子小学校出身）

賑やかな空気感の中、アイスや軽食を買ったり、おしゃべりや勉強をしたりと、自由に過ごせるところが生徒ホールの魅力です。様々な生徒が来る場所なので、クラスや学年が違う友達とも交流でき、私達の憩いの場となっています。

豊富な探究型活動を通じて、社会理解と自己理解を深める

本校の教育活動の特徴として、特に附属中学校では数多くの学校行事が行われる点が挙げられます。また、それらの多くが、自身の人生設計や目標の確立へと繋がるような“探究型活動”を重視しており、様々な体験や経験を通じて社会理解を深めると同時に、生きる道を見定めるために必要な自己理解を促すものとなっています。

農作業

汗を流して働くことの大切さを学ぶ

総合的な学習の時間を利用し、主に1、2年次に農作業を行います。机上で学ぶだけでなく、汗を流して働く経験が大切だと考えているからです。簡単な収穫体験ではなく、土地を耕すところから全て自分達の力でいきます。1年間を通して様々な作物を育てていく経験を通して、食の有り難さ、労働の大変さと責任感を学びます。

生徒の声 2年2組 高橋 燈 (瑞穂町立瑞穂第四小学校出身)

普段は農作業をやらないので、野菜を育てることができて嬉しかったです。いつも食べている野菜がどのようにして作られているのかを知ることができました。1週間たったらずに雑草が生えてきたり、水を撒く時にあまり葉っぱに水が掛からないように撒かないといけなかったりなど、農家さんたちの凄さがわかりました。

作った農作物を使っていろんな料理を作り、小さめなかぶなども料理に使えました。特に白菜が甘くて美味しかったです。自分の家でもなにか育ててみようと思いました。



合唱コンクール

声をそろえ、五線譜で心を通わせる

年に1度、全学年で合唱コンクールを行います。合唱が持つ最大の魅力、それは“たくさんの声が重なることで生まれる音色の美しさ”です。練習から、級友達と曲に込められた思いや表現方法について話し合い、たくさんの練習を重ねます。みんなで気持ちをひとつに揃えて歌う美しい響きは、聴く人の心の奥深くまで届き、言葉では言い表すことのできない感動を生みます。

生徒の声 高等学校 1年A組 芝本 璃咲 (人間市立藤沢南小学校出身)

私たちは、課題曲に「朧月夜」を、自由曲はクラスみんなで話し合って選んだ「正解」を歌いました。練習は最初から順調に進んだわけではなく、クラス内で意見が分かれ、ぶつかり合うこともありましたが、その度に話し合いを重ね、お互いの悩みを聞き合い、支え合いながら乗り越えました。本番が近づくにつれて一人ひとりの意識が高まり、男女やパートごとに音程や声の強弱、速さを意識しながら歌えるようになりました。今回は保護者の方々も聴きにきてくださったため、感動してもらえるように、そして先生の心にも私たちの歌が届くようにと、クラス全員で気持ちを一つにして練習に取り組みました。実際、本番で全員の歌声が講堂に響いた瞬間は、クラスが一つになったように感じました。私は3年間、自由曲の伴奏を務めました。今回の曲は今まで一番長く、不安もありましたが、みんなの大きな歌声に引き込まれ、支えられながら演奏することができました。3年1組みんなで一生懸命に取り組んだ合唱コンクール、そして、最優秀賞を受賞できたことは、一生忘れることのない大切な思い出です。



軽登山

心と体を鍛え、仲間との絆を育む

奥武蔵や秩父、奥多摩などの山々を年に1回登ります。いかに社会文明や科学技術が進歩しようとも、自然環境という基盤なくして人類の豊かで健全な生活は成り立ちません。自然の偉大さと厳しさを感じながら、みんなで励まし合って登り切る経験や頂上で得られる達成感、忘れられない思い出になるとともに、清らかで逞しい人間力の醸成に繋がっています。

生徒の声 2年1組 金井 愛実 (人間市立藤沢北小学校出身)

私は、初めての軽登山を通して、友達がいることの有り難さや、団体行動の大切さを学びました。登っている最中は、途中でとても疲れてしまったり、足が痛くなって動きにくいと感じる時もありました。しかし「山頂からの景色を全員で見よう!」というみんなで決めた目標のもと、友達同士で声を掛けて励まし合うことができたからこそ、最後まで登りきれたのだと思います。また、途中のお昼休憩でも、友達といろいろな話をしたり、笑い合ったりしながら食べたりと、とても楽しい時間を過ごせました。今回の軽登山は大勢で歩きましたが、みんな話を聞く時はしっかり聞いていたので、とてもスムーズに行動することができました。ただ、昼食後の集まりの時に、みんなが決められた時間と場所にしっかり集合することができなかったことは、唯一残念な点でした。私は副ルーム長として、もっと責任感を持ち、時間をよく見て動けばよかったと思いました。今回の反省を、これからの学校生活や行事などに活かしていきたいと思っています。



〇〇の歴史(1年次) / SDGs発表(2年次)



自分の将来を見定めていく中で、「世の中はどうなっているのか」について興味関心を抱き、その興味関心に基づいて自ら主体的に調べて理解することはとても重要です。本校では、生徒達が自然と社会への興味関心を抱き、主体的に学習に取り組む中で“社会理解/自己理解”を深めることができるように、1年次には好きなテーマの歴史を、2年次にはSDGsをテーマにした調べ学習と発表をする機会を設けています。

生徒の声

2年2組 藤田 優莉
(入間市立狭山小学校出身)

『大英帝国のインド支配の歴史』

私たちの班は、大英帝国のインド支配の歴史について発表しました。放課後は毎日のように残り、ポスター作成や発表の練習を熱心に行いました。今回、優秀班に選ばれたのは、班の全員で協力し合い、お互いに改善点を指摘し、発表の質を高めるために最後まで全力で取り組むことができたからだと思います。

東京大学教養学部主催 高校生と大学生のための金曜特別講座



本校では東京大学教養学部と協定を結び、インターネット配信にて公開講座「高校生と大学生のための金曜特別講座」を実施しています。東京大学で実際に教壇に立つ先生方が、それぞれの研究テーマに沿った様々な内容の講義を実施しており、高校生はもちろんのこと、中学生も参加が可能です。大学での研究内容に触れることで、知見を広めるだけでなく、自身の学問探究にも結びつく貴重な機会となっています。

生徒の声

1年2組 山口 藍
(新座市立新堀小学校出身)

私は、普段よく使うAIについて、新しい視点で研究していることに興味を持って、参加しました。私にとって難しい講座でしたが、AIがなぜ哲学の問題になるのかという普段あまり考えないテーマについて学ぶことができ、とてもいい経験になりました。教授が熱心に説明してくださったことも印象に残っています。

英語スピーチコンテスト

— 英語を“使う力”を育てる —

本物の英語力を身につけるには、英語を聞く力、話す力、読む力、書く力という4つの技能を総合的に習得する必要があります。そのために、授業内からシャドーイングやオーバーラッピングなどを意識的に取り入れ、特に聞く力や話す力を向上させる取り組みを行っています。さらに、人前でも臆することなく英語で自己表現をする重要な機会として、英語スピーチコンテストを行います。1年生は英文の朗読を、2年生では英文の暗唱を行い、最高学年となる3年生では自ら考えた英文文を暗唱します。



生徒の声

3年2組 大嶋 樺子
(藤枝市立高洲小学校出身)

私はキング牧師の公民権運動に関する演説の暗唱をしました。最初に聞いたときは、数分間も話さなくてはいけない程長い演説を覚えることができるのだろうかと不安に思いましたが、実勢のキング牧師の演説を動画で繰り返し見ることで覚ええました。寸暇を惜しんで練習し、豊かな感情表現ができるようにこだわって練習をしました。

理科実習

科学的探究心を育成する

知識や技能を獲得することだけが学習ではありません。それら知識や技能を、主体的に判断・行動したり、問題を解決する力と結びつけられて初めて学力を習得したと言えます。本校では、真の学力習得を目指す取り組みとして、年に1度、理科実習を実施しています。自然科学の分野から、自身が気になったことや興味を抱いた事柄について考察し、よく調べ、実際に本物を観察して振り返るという一連の学習体系は、学力を最大限に向上させる貴重な機会となっています。また、グループ活動で実施することで、協調性や協働性などの“社会的スキル”を身につけることもできます。



JAXA筑波宇宙センター



葛西臨海水族園



多摩六都科学館



国立科学博物館



城ヶ島



多摩動物公園

生徒の声

中学3年 JAXA筑波宇宙センター 高等学校 1年B組 江夏 康平（所沢市立所沢小学校出身）

理科実習では、教科書で学ぶだけでなく、実際に見たり触れたりすることの大切さを学びました。

最初に訪れた地質標本館では、教科書の写真でしか見たことのないような様々な鉱物が並んでいて目を惹かれました。また、館員の方が地震の揺れの性質や音の伝わり方などをクイズ形式で説明してくださったり、目の前で実験をしてくださったりと、楽しみながら学ぶことができ、印象に残っています。

次に訪れたJAXA筑波宇宙センターでは、一般の人は立ち入れない部分に入らせてもらい、今まで実感が湧かなかった宇宙をどう活用するかについて学ぶことができ、とても興味深かったです。また、スペースドームでは国際宇宙ステーションの実物大モデルの中に入ることができ、その大きさと内部の精密さに驚かされました。

この活動を通して授業を受けるだけでなく自分の目で確認することの大切さを学ぶことができました。

校外学習

地理歴史の視点から 世の中を見つめる

理科実習の他に、地理や歴史的分野に焦点を当てて行われる体験型学習として、年に1度、校外学習を実施しています。理科実習と同様、主体性を引き出す取り組みとして事前学習を綿密に実施し、自身の予想や考察と本物に触れた感覚や現地地で得た情報をすり合わせることで、私たちが生きる現代社会の成り立ちに対して深い理解を促すとともに、学ぶこと自体の根源的な面白さを実感することができます。こちらも、理科実習と同様にグループ活動で実施することで、社会性や集団規律を学ぶ場となっています。



鎌倉



東京国立博物館



川越



江戸東京博物館



小田原



東京駅周辺

生徒の声

中学3年 鎌倉方面

高等学校 1年D組 鈴木 啓介 (羽村市立栄小学校出身)

今回の校外学習では、実際に現地に赴くことで初めて知ることや驚いたことなど、新たな学びや発見がたくさんありました。まず、鎌倉幕府と縁深い鶴岡八幡宮では、本宮や若宮、丸山稲荷社、白旗神社などの歴史的な建造物を実際に目にする事で、鎌倉の歴史や文化を身近に感じることができました。また、和田塚を訪れた際には、有名な和田一族のお墓が住宅街の中にあることや、大正時代に取り壊されそうになったものの、今も守られていることを知り、歴史を大切にしている人々の思いを強く感じました。さらに、鎌倉大仏殿高徳院では、大仏像の胎内に入って拝観しましたが、約800年前にこんなにも立派なものを作る技術があったということに驚きました。

最後に、班別研修を通して友達と協力しながら楽しく学ぶことができ、中学校生活にふさわしい思い出深い校外学習となりました。

研究レポート

中学1年からの集大成として、研究レポートを作成し、ポスターセッションという形で発表をします。

知的好奇心を刺激し、主体的思考力を育む

中学1年次から計画的に行われる「総合的な学習の時間」の集大成として、中学3年次には研究レポートと称した論文を全員が執筆します。自身の興味関心から論じたいテーマを設定し、4000字以上の論文として、約1年をかけてまとめあげる壮大なプロジェクトです。簡単に調べられることやすぐに結論が出ているものではなく、まだ答えのない問いや正解のない問いに対して深く考察し、時に批判的視点を持ちながら時間をかけて調べ、ひとつの結論へと導く経験は、知的好奇心を大いに刺激し、主体的思考力や物事を多面的に捉える力、幅広い教養の獲得へと結びつきます。またこの経験が、学問分野への興味関心をさらに高め、高校卒業後を意識した“第一志望大学決定”への基盤となっています。

1

テーマの設定

～ 中学3年 1学期前半 ～

テーマ設定用紙を使いながら、各自が論じたいテーマを決定します。

論じていくために、調べ学習にとどまらないようなテーマ設定を心がけます。



2

ゼミの形成

～ 中学3年 1学期中頃 ～

生徒数人を教員1人が担当し、個人のテーマに沿って大学のようなゼミ形式で密に内容を深めていきます。生徒間、教師生徒間で意見を言い合うなど、積極的に意見を交わします。



3

紙芝居プレゼンテーション法

～ 中学3年 1学期後半 ～

伝えたい内容を紙にまとめ、それを複数枚で発表していきます。自身の思考を整理する上で効果的な方法であり、これから執筆していく論文の方向性が見えるだけでなく、発表の練習にもなります。



4

執筆

～ 中学3年 2学期 ～

実際に Chromebook を使いながら、論文を執筆していきます。オンライン上で教員とファイルを共有し、内容にコメントしながら修正を繰り返していき、より良い論文を作成していきます。



5

発表準備

～ 中学3年 2学期後半 ～

ポスターセッションに向けて、模造紙に自身の論文をまとめ直し、グラフや絵などを活用しながら、自身の論文・考えを視覚化し、発表に向けた準備を行います。



執筆してきた論文の集大成として、ポスターセッションでの発表を行います。各々が研究してきた論文内容を一枚の紙にまとめ、同級生や下級生、保護者の前で発表します。いかに良い論文を執筆しようとも、それを相手に上手く伝えることができればならないと考えているからです。どのようなデザイン構成にするべきか、聴き手が理解しやすい説明をするにはどうすればよいかなど、発表者として心掛けるべき点に気をつけながら作成していく際には、1、2年次に経験した探究型活動が大いに活かされています。また、発表時には聴衆から意見や質問を受けることで、自身の論文に対する新たな視点や考えを得ることもあります。

本校で習得した「必要な情報を整理し、分析する力」は、彼らが卒業した後、社会に貢献していくための力として大いに役立つものとなるはずです。



生徒の声

高等学校

3年A組 梶田 帆夏(飯能市立加治小学校出身)

私は「幽霊画に女性が多いのはなぜか」というテーマで発表しました。各時代の幽霊画を比べ、様々な背景から現存していない説を導き出しました。一年間向き合っていくものになるので、本当に自分が興味のある事柄でテーマを設定することが何よりも大切だと思います。

一番大変だった作業は論文執筆です。研究を進めていく中で自分の主張が明確にならず、悩んでいた時期がありました。しかし、分からないところまで戻って考え直し、担当の先生にアドバイスをさせていただくことで乗り越えられました。ポスターセッション当日は、たくさんの人の前でも落ち着いて話すように心がけました。一生懸命取り組んだ分だけ、一年間の研究の成果が聴き手に伝わった時の達成感は大きくなります。

この活動を通して、幽霊画に対しての考えを深められただけでなく、情報を処理する能力や発表の工夫の仕方、見やすいポスターの作成方法などを身につけることもできました。



生徒の声

高等学校

2年A組 寧 蔚(入間市立藤沢東小学校出身)

私はIPS細胞をテーマにしました。テーマの決定では、自分が深めたい事について、ピンとくるものがなく色々なテーマを調べ、何度も挫折しました。しかし、様々な事を知り、自分が本当に興味のある分野を見つけられました。IPS細胞を掘り下げて考えていく内に、生物学に関する知識が自然と身につく、学が楽しさを知るきっかけとなりました。そして、1年の研究の集大成を先生や保護者、生徒などの前で発表しました。何度も発表の練習を繰り返すことで緊張はなくなり、今では大勢の前で発表するのは寧ろ、楽しいです。皆がテーマに対し、中学生しかできないようなユニークで柔軟な考えを発表していて互いに勉強になりました。

中学3年生という多くの可能性がある時期に、自分の好きなことを知り、漠然としていた進路を決める非常に大切な機会でした。そして、普段の生活でも将来を見越し、物事を取捨選択し、目的を持って行動できるようになりました。



生徒の声

高等学校

1年B組 武田 真征(所沢市立若狭小学校出身)

私は、自分の興味を原動力にし、また、電車が大好きだという強い思いを込めて、限られた授業時間を有効に使いながら粘り強く研究を進めることができました。テーマである観光列車について、成功した事例や赤字に陥った理由を調べ、大井川鐵道のSL急行「かわね路号」やJR四国の「伊予灘ものがたり」などを例に、導入による収益や地域への影響についても考察しました。好きな分野だからこそ疑問が次々と生まれ、自分から進んで資料を探し、より深く探究することができました。先生方のご指導に支えられながら、最後は納得のいく形で論文をまとめることができました。将来、大学などで論文を書く際はこの経験を生かし、自分の強みとしてさらに伸ばしていきたいです。そして、この論文執筆で得た学びの姿勢や積み重ねていく力を武器に、さらに自分を高めていけるよう努力していきたいです。



年間行事 狭山ヶ丘で最高の思い出を

体育祭

生徒の声 高等学校 1年A組 土井谷 百香
(入間市立東町小学校出身)



体育祭で最も心に残った種目は「みんなでジャンプ」です。持久力が試されるこの種目に出場するのは私にはハードルが高く感じられたのですが、3年生で初めて出場することにしました。

練習は想像以上に苦しいものでした。跳び続けるにつれて、「せーの」という掛け声を出す余裕もなくなっていました。しかし、跳ぶことに限界を感じながらも、この種目が「体育祭で私にできる最後の貢献」だと思うと、とても大きな活力が湧きました。そして迎えた本番では、無我夢中で跳び続けました。制限時間の3分間が経ち、競技が終わった途端に、クラスみんなで倒れ込みました。結果は120回。練習を遥かに上回る結果で1位をとることができました。痛む足首を押さえながら友達とガッツポーズをし合ったあの瞬間は、忘れられない思い出です。



4月
April

- 入学式
- スポーツテスト

5月
May

- 生徒会役員選挙
- 中間考査
- 軽登山

6月
June

- 創立記念日 (6月1日)
- 吹奏楽部 定期演奏会
- 生徒総会
- 理科実習
- 体育祭

7月
July

- 期末考査
- 夏期講習

8月
August

- 夏期講習
- 海外語学研修

9月
September

- 実力テスト
- 狭丘祭(文化祭)



狭丘祭(文化祭)

生徒の声 高等学校 1年B組 杉本 三四郎
(入間市立豊岡小学校出身)

英語劇『不思議の国のアリス』

中学生最後の狭丘祭の出し物として「英語劇」を行いました。私たちの班は『不思議の国のアリス』を演じ、優秀賞を受賞することができました。狭丘祭の準備期間では衣装や小道具の作成、そしてセリフに感情を込めていく方法など、たくさんの壁がありましたが、その度に多くの班員で意見を交わし、乗り越えて行くことができました。私はトゥイードルダムとトゥイードルディーという双子のうち、兄のダム役を演じました。衣装で使ったサスペンダーは実は狭丘祭当日に作り終えたのですが、本当に寸前であったため、やや冷や汗をかいてしまいました。他にも多くのハプニングを乗り越えたからこそ、優秀賞を受賞した時は興奮が収まらず、仲間たちと大喜びしたことを今でも鮮明に覚えています。中学生最後の狭丘祭で満足のいくものができたことは、素晴らしい青春の思い出になりました。とても楽しかったです。



宿泊研修(伊豆方面)

生徒の声 3年2組 鈴木 舞
(入間市立藤沢北小学校出身)



韮山反射炉では実物を間近で見学し、側面の「焚口」から石炭などの燃料を入れて金属を溶かしていることや、熱が天井で反射して高温を生み出す仕組みを知り、当時の技術の精密さに驚きました。ジオリアでは、川による土砂の浸食や運搬、堆積を視覚的に捉える実験などついで学び、自然の偉大さを実感しました。修善寺温泉ではいくつかの寺社を巡り、おみくじを引いたり、風景の写真を撮ったりしました。普段は物静かな友人が大吉を引いてはしゃぐ姿を見て、新たな一面を知ることができたことがとても嬉しかったです。この2日間を通して、実際に見て、触れて、感じることの大切さを強く実感しました。仲間と助け合いながら行動したことで、一人では気づけないことも共有できる面白さも学ぶことができました。これからも、知識をただ蓄えるだけでなく、自分の目で確かめ、仲間と考えを深めていく姿勢を大切にしていきたいです。



10月

October

- 校外学習
- 中間考査
- 宿泊研修(中2)
- 修学旅行(中3)

11月

November

- 合唱コンクール
- 芸術鑑賞会

12月

December

- 期末考査
- 冬期講習

1月

January

- 実力テスト
- 英語スピーチコンテスト

2月

February

- 持久走大会
- 入試体験

3月

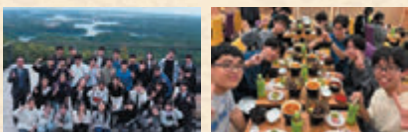
March

- 学年末考査
- 卒業式



修学旅行(三重・名古屋方面)

生徒の声 高等学校 1年B組 櫻井 心結
(入間市立藤沢東小学校出身)



私はこの4日間の修学旅行でとても有意義な時間を過ごすことができました。特に印象に残っているのは、3日目に訪れたせんぐう館や伊勢神宮です。とても文化的価値があり立派な神社であることは知っていましたが、詳しく学んだことはありませんでした。せんぐう館で式年遷宮に使う特別なヒノキ材を見たり、遷宮についての説明もしていただいたりして、式年遷宮の過程を1から知り、昔からおこなっている伝統が今も途絶えずに続いていることにとても感動しました。そして、そのことを知ってから外宮、内宮を参拝することで、よりその素晴らしさが実感できました。ホテルでの宿泊班や日中の行動班では周囲の方々の迷惑にならないよう友達とも声を掛け合い、時間を見て行動することができ、学びだけでなく友情も深まったと感じています。



施設紹介 充実した学習施設で学ぶ

2号館

本校の施設、計28か所を360°カメラで巡る
VRツアーへ出かけましょう！

本校HPから、もしくは右記の
QRコードからご参加ください！



視聴覚室 1号館

100人以上を収容できる階段教室。プロジェクターとスクリーンを完備し、大きな映像を出しながら、授業やガイダンス、委員会活動など幅広く使用される。



講堂 1号館

400人以上を収容できる階段教室。最新の映像・音響設備を完備しており、朝ゼミや各種講習、進路ガイダンスなどの各講座に使用される。



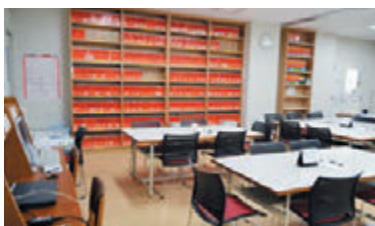
生徒ホール 2号館

外からの光が入る開放的な空間の中で、休み時間や放課後は生徒の憩いの場として利用されている。



進路指導室 2号館

赤本を中心に豊富な資料がそろっている。進路担当の教員が在室しているので進路の悩みをいつでも相談できる。



1号館

生徒ホール

正門



教室

2号館

中学1、2年は2階、中学3年は3階を利用。2階には中学職員室があり、生徒に目が届きやすい構造となっている。

音楽室 2号館

普通教室3部屋分の広さでつくられた音楽室。グランドピアノが2台設置され、音響機器も充実しており、音楽活動に適した環境になっている。



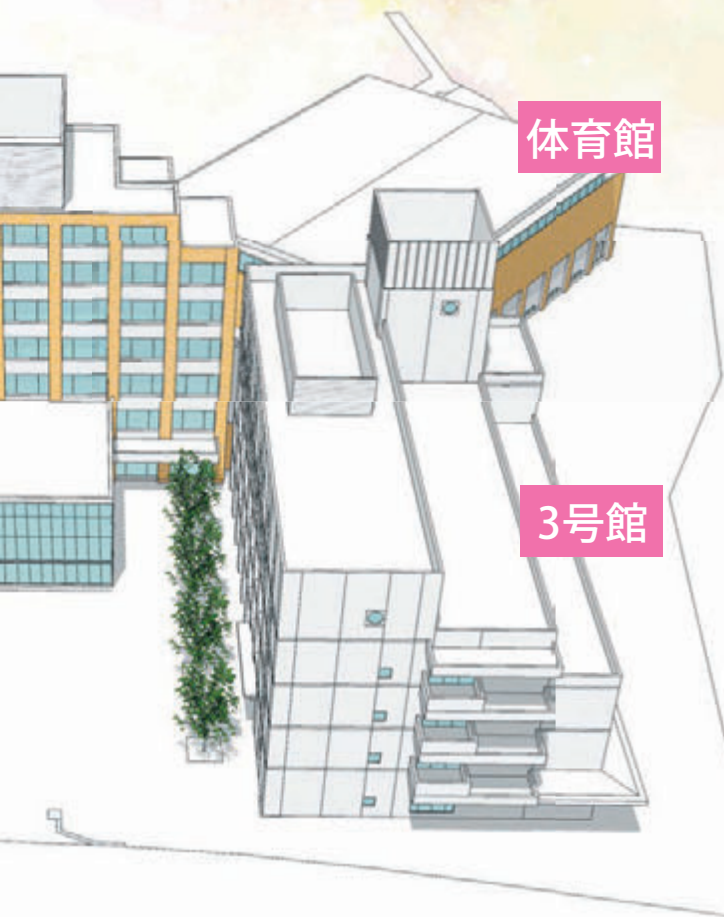
狭山ヶ丘学園総合グラウンド スクールバスで15分

多目的グラウンド、サッカー競技場、野球場を擁する広大なグラウンド。夜間練習用に照明も完備されており、練習にも力が入る。弓道場と硬式テニスコート2面も併設されている。(39,439㎡)



攻々館 徒歩3分

1階に武道場、2階に卓球場があり、剣道部、なぎなた部、合気道部、卓球部が日々活動を行っている。



体育館

茶室「悠久庵」 3号館

にじり口まで備えた本格的な茶室。高校3年次の茶道の授業でも使用される。生徒は授業を通して茶道裏千家初級の資格を取得することができる。



情報室 3号館

情報室には、40台以上のデスクトップパソコンを設置しており、操作の基礎からしっかりと学ぶことができる。



家庭科室 3号館

3号館4階の家庭科室には、IH調理器をはじめ、さまざまな最新調理器具を完備している。



中学生専用図書室

2号館

図書室にはベストセラー作品や総合学習で利用する職業等に関する書籍のほか、洋書もたくさんそろえている。また、中学生専用自習室としても利用されており、毎日の予習復習や定期考査対策に利用できる。



図書室・自習室

3号館

25,000冊以上の書物と130席のキャレルがあり、学習環境が整っている。夕方4時以降、自習室として開放され、夜9時まで（高校）静かな環境で集中して学習することができる。



理科講義室

2号館

生物・地学分野の実験を理科講義室で行う。実験を行いながら黒板が見える配置になっている。



理科実験室

2号館

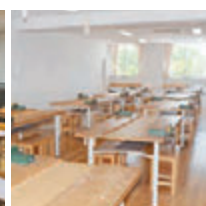
2号館6階には3つの理科室がある。理科実験室は、物理・化学分野の実験を中心に使用している。



美術室・技術室

2号館

美術室・技術室はホームルーム教室のすぐ近くにあり、移動しやすい工夫がなされている。また、生徒が作った作品がたくさん展示されている。



義学館 スクールバスで15分



1階には部室・更衣室と、豊富なトレーニング機器を充実させたウエイトルーム、2階には冷暖房完備の広大な武道場がある。体育授業のほかに、グラウンドで活動する多くの運動部がこの施設を利用し、鍛錬する。

ICT教育

新入生の方には入学時に本校指定のタブレットPCを購入していただきます。
これらの端末を用いて、校内の様々な場面でICTを活用した教育を実施しています。

Chromebook™・ プロジェクター

購入していただくタブレットPCは Chromebook を採用しています。オンライン環境において活用でき、動作も軽く、後述の Google Workspace for Education との親和性が高い端末です。緊急時に貸与できるよう、学校保有のものも180台用意しています。
合わせて、すべての教室にプロジェクターを設置しています。教員側から操作に関する視覚的なサポートや映像資料の提示を行ったり、生徒の発表活動に用いたりしています。



情報室

Windows搭載のデスクトップPCを45台設置しており、主に情報科の授業で活用しています。
近年タブレット端末の普及により、情報室を無くそうとする学校が増えています。それに伴い、デスクトップPCを見たり触れたりした経験のない入学生が増加傾向にあります。しかし様々な制作や開発の現場でデスクトップPCは今後も必須であり、学生のうちからその操作に慣れ、理解を深めておくことが重要です。それを踏まえ、Chromebook の活用と並行して、デスクトップPCの扱いについても指導に力を入れています。



Google Workspace for Education

Google の提供する教育用サービスであり、諸連絡や課題のやりとりを行う「Google Classroom」をはじめ、ICT教育を支援する様々な機能を有しています。授業内で資料の配布や課題の実施を行う他、授業外でもクラスやゼミ、部活動等で活用しています。生徒には一人一件ずつ Google アカウントを発行し、在学する間これらの機能を、Chromebook や家庭のPC等からログインして自由に使用できます。



スタディサプリ

リクルート社のオンライン学習サービス「スタディサプリ」を導入しています。校内では Chromebook で、校外では自身のPCやスマートフォン等でも、いつでも講義動画を用いた学習が可能です。また、学校での一括申込のため、個人で申し込む場合よりも低価格で利用ができます。現在はこのサービスを用いて、個人の予習・復習や宿題としての活用をしています。

スタサプ



部活動

※高等学校には、硬式テニス部、アメリカンフットボール部、女子サッカー部、創作ダンス部といった運動部に加え、軽音楽部や漢詩俳句同好会、創作研究部といった文化部・同好会など多様な部活動があります。詳しくはホームページをご覧ください。

中学校の部活動は、技術・知識の習得のみならず、努力することの大切さを学び、仲間との絆を深め合いながら活動することを主眼としており、部活動によっては高等学校の生徒と共に活動しています。

運動部

卓球部
合気道部
バドミントン部
なぎなた部
バスケットボール部
剣道部

文化部・同好会・愛好会

インターアクトクラブ	書道部	囲碁・将棋同好会
家庭科部	吹奏楽部	写真同好会
茶道部	合唱部	交通研究同好会
美術部	放送部	歴史研究同好会
科学部		英語愛好会
文芸部		クイズ研究愛好会
演劇部		ディベート愛好会



バスケットボール部



合気道部



放送部



卓球部



バドミントン部



科学部



インターアクトクラブ



家庭科部



茶道部

保健室より

～自分の体や心について興味を持ち、考えられる人へ～

「自分自身の力で体調管理ができる生徒」へと成長してもらいたいという思いで、日々生徒と接しています。なぜ、体調が悪いのか。なぜ、気持ちが落ち込むのか。自分で原因を考えられるようになることで、自分の心身の不調に早めに気がつき、対応ができるようになる。それが、高校生そして大学生へと進む生徒たちの「生きる力」につながるはずだと考えています。そして、自分自身の存在を大切に感じ、人とのかわりの中で生まれる葛藤などから、自分とは違う考え方、存在を尊重するという心も育てていければと思います。

中学生は、体も心も大きく成長する時期です。そのため様々な悩みを抱える時期でもあります。保健室では、そんな生徒たちの成長に寄り添い、共に考えながら、担任の先生や学年の先生方と協力をし、子供たちの笑顔の絶えない学校生活をサポートしていけるように努めています。



養護教諭 成瀬 花菜

School Uniform

2023年度より女子(附属中学校・高等学校)の制服に「スラックス」を導入しました。女子の制服は「スカート」「スラックス」の片方のみのご購入でも構いません。また、両方ご購入いただき臨機に着用していただいても構いません。

冬服

スクールカラーの紫のワンポイントが片方の襟や女子のスカートに入っているお洒落なスタイルです。
落ち着いた上品な雰囲気を醸し出します。



夏服



夏の制服は、女子はワイシャツにサマーベストとスカート、男子はワイシャツにズボンというスタイルです。ウォッシュ加工により、家庭での洗濯が可能です。また、撥水加工されているため、雨・水の汚れをはじきます。

夏服期間には、ワイシャツでもポロシャツでも、好きなスタイルをお選びいただけます。

その他指定品・希望購入品



ネクタイ



夏ニットベスト(白 / 紺)



体育ジャージ



体育着



冬ニットセーター・冬ニットベスト



学年章



通学カバン

荒木 萌さん

上智大学 総合人間科学部 看護学科 卒業



私が看護の分野に興味を持ったきっかけは、ドラマで看護師の活躍を目にしたことです。他者を支え働く姿に魅力を感じました。その後、進路を考える中で、上智大学の国際的な環境や幅広い教養を学ぶことができる点に惹かれ、迷うことなく志望しました。

上智大学では、友人や教授との出会いが大きな支えとなりました。共に学び、成長する環境を与えてくれたと感じています。また、大学での学びを通して国際看護に関心を持つようになり、モンゴルでの実習にも参加しました。文化や看護観の違いに戸惑うこともありましたが、それ以上に新しい発見に触れることができ、大きな刺激を受けました。そして、様々な背景の中で行われる看護に触れ、その可能性や奥深さを学ぶ貴重な経験となりました。

現在は虎の門病院で看護師として勤務しています。数多くの疾患や医療について学びながら、医療チームの一員として、患者さんやご家族の生活を一緒に考えて支えられることに、日々やりがいを感じています。

狭山ヶ丘学園はゼミや自習室など学習に専念できる環境が整っているため、勉強にしっかりと集中することができました。友人と一緒に生徒ホールや自習室で勉強をし、分からない時には先生方に質問をして理解できるまでとことん向き合ってもらいました。また、大学受験期には面接が必須であったため、自分が安心できるまで先生方に面接対策をして頂きました。

私は、狭山ヶ丘学園で過ごした6年間で本当に多くの学びと経験を得ることができ、「この学園を選んでよかった」と心から感じています。狭山ヶ丘学園には素敵な先生方や充実した施設など、自分の「やりたい」という気持ちや行動を応援してくれる環境が整っています。そうした環境の中で学ぶことができたからこそ、今の自分があると感じており、これからの将来についても前向きに考えることができています。

自分の気持ちを大切にできる環境の中で過ごすことが、きっと今後の大きな力になると思います。

Message from Graduates 社会で輝く卒業生たち

三菱重工業株式会社 プラント・インフラドメイン プラントエンジニアリング部 製品技術開発グループ 勤務

秋和 佑汰さん

東北大学 工学研究科 化学工学専攻

子どもの頃から実験や発見が好きだった私は、特に関心が強かった化学の知識を深めたいと考え、東北大学化学・バイオ工学科へ進学しました。そして、新しいものを生み出し社会に届けたいという思いから、「化学の知識をものづくりへとつなげる学問」である化学工学を専攻しました。

大学・大学院での学びを通して、自分の能力や専門知識を活かし、多くの人々に影響を与える仕事がしたいと考えようになりました。その思いからエンジニアを志望し、三菱重工業株式会社へ入社しました。入社後は、バイオエタノールのような再生可能エネルギーの普及に向けた技術開発に取り組んでいます。これらは注目されている一方でコスト面の課題があり、より経済的に社会へ供給するため日々検討を重ねています。社内外の人々と関わりながらプロジェクトを進めることにやりがいを感じており、さらにその成果がニュースなどで取り上げられることで、自分の仕事が社会に影響を与えていることを実感しています。

そんな今の私の基礎を築いたのが、狭山ヶ丘学園での生活です。自習室や朝ゼミなどにより、自分に合った学習ができる環境が整っており、学業と部活動に全力で打ち込むことができました。部活動では「新しいことに挑戦したい」と考え、ルールも知らなかったアメリカンフットボールを始めました。また、限られた時間で効率よく学習するために、自分で学習法を考えるようになりました。部活動ではチームワークやチャレンジ精神を、学業では主体的に考え行動する力を磨くことができ、この経験が、受験や就職といったその後の人生において確実に役立っていると感じます。

受験生の皆さんには、「とりあえずやってみる」というチャレンジ精神を大切にしてほしいと思います。挑戦には不安がつきものですが、勇気を持って飛び込むことでしか見られない景色があります。それはきっと刺激的で人生を豊かにしてくれるはずです。そして狭山ヶ丘学園には、その挑戦を後押ししてくれる環境が整っていると私は感じています。皆さんの挑戦を心より応援しています。



1 入学試験要項及び募集定員

入試制度	一般入試			
	第1回	第2回	第3回	第4回
試験日	令和9年1月10日(日) 午前	令和9年1月12日(火) 午前	令和9年1月15日(金) 午前	令和9年2月5日(金) 午前
募集人数	40名	25名	15名	若干名
試験科目 4科・2科・1科 選択	○4科 算数[50分]・国語[50分]・理科[30分]・社会[30分] 記述方式 ※4科 320点満点(算数・国語 各100点) ○2科 算数[50分]・国語[50分] 記述方式 ※2科 200点満点(理科・社会 各60点) ○1科 算数[50分] 記述方式 ※1科 100点満点			
面接試験	なし			
特待生※①	若干名			
受験料	1回20,000円 【同時申し込みに限り、複数回受験割引あり[2回=20,000円 3回=25,000円 4回=30,000円]】			
出願資格	令和9年3月小学校卒業見込みの者			
出願方法	インターネット出願			
出願期間	令和8年12月1日(火)～ 令和9年1月10日(日) 6:00	令和8年12月1日(火)～ 令和9年1月12日(火) 6:00	令和8年12月1日(火)～ 令和9年1月15日(金) 6:00	令和8年12月1日(火)～ 令和9年2月5日(金) 6:00
合格発表	インターネット発表(HP掲載)※②			
	令和9年1月10日(日) 20:00	令和9年1月12日(火) 20:00	令和9年1月15日(金) 17:00	令和9年2月5日(金) 17:00
入学手続 ※③	令和9年2月4日(木)までに入学手続金を振り込むこと ➡手続書類を郵送する(令和9年2月5日(金)消印有効) あるいは ➡事務室窓口へ直接持参する(令和9年2月5日(金)16:00まで)			令和9年2月9日(火) までに入学手続金を振り 込むこと ➡手続書類は2月13日 (土)の入学手続日に持 参すること

※①[特待生] 第1回～第4回の全入試で特待生の判定をします。

1. 入学金及び授業料を原則として1年間免除します。2年次以降の継続については、進級時に審査の上、決定します。
2. 特待生に認定された受験生には「入学試験結果通知書」に案内を同封します。
3. 4科受験の成績上位者(素点での得点率80%以上)とする予定です。ただし、受験者数や平均点等に応じて条件を変更することがあります。
4. **2月5日(金)まで**に入学手続を終えており、第4回入試で特待生に認定された場合は、納入済みの入学金を返還いたします。
5. 入学後にも、きわめて成績優秀な生徒を特待生に認定することがあります。

※②ホームページ発表後、各自の教科得点および受験生全体の平均点を記載した「入学試験結果通知書」を郵送します。

※③延納手続金や入学手続延期願を提出する必要はありません。ただし、いったん納入した受験料・入学金は理由の如何に関わらず返金いたしません。

2 出願手続

(1)出願手続方法

- ①本校ホームページから「出願サイト(miraicompass)」にアクセスしてください。
- ②ログインIDをご登録のうえ、出願情報を入力し、受験料納入手続を行ってください。説明会等の予約時にログインIDをご登録済みの方は、同じIDでログインが可能です。
※出願後の「試験日」「受験科目」等の変更は一切認められませんので、ご注意ください。
※受験日程を追加したい場合等は、出願サイトより追加出願を行ってください。その際は、必ず初回出願時と同じログインIDで手続を行ってください。

(2)出願書類

- ①受験票および受験票(控)は、受験料納入後、出願サイトのマイページより印刷が可能です。A4の白い用紙にカラーで印刷してください。
- ②受験票(控)に、出願時にアップロードした顔写真データを印刷するか、証明写真(カラー縦4cm×横3cm)を貼付してください。
- ③受験票と受験票(控)はあらかじめ切り離したうえで、試験当日に必ず持参してください。受験票(控)は試験日当日の朝に回収いたします。

3 資格検定優遇制度

「実用英語技能検定(英検)」「日本漢字能力検定(漢検)」「実用数学技能検定(数検)」において、一定以上の資格を有する受験生に対し試験得点に**加点優遇**をする「**資格検定優遇制度**」を導入しています。

	4級	3級	準2級以上
4科受験	+16点	+32点	+48点
2科受験	+10点	+20点	+30点
1科受験	+ 5 点	+10点	+15点

※①検定資格の合格を確認するために、受験日当日に、**合格証明書の原本とコピー1部**をご持参ください。7:45～8:30の間に、受付にて原本とコピーが相違ないことを確認の上、コピーの提出をもって加点優遇を行います(原本はその場で返却)。なお、当日にご持参されなかった場合や決められた時間に提出されなかった場合には、加点優遇を行うことはできませんので、資格を有する方はくれぐれも忘れることがないようご注意ください。なお、複数回受験を申し込み、最初の試験で資格取得を確認した場合、2回目以降の試験に改めて合格証明書およびコピーを持参する必要はございません。

※②上記加点は、併用可とします。例えば、英検で4級、漢検で3級を取得している場合、4科受験では48点、2科受験では30点、1科受験では15点が加点されます。

※③特待生認定に関しては「4科受験のみ / 素点での得点率80%以上」を対象とする予定です。加点によって得点率が80%を超えたとしても、特待生には認定いたしません。

4 入学試験

(1)試験場・試験日程

試験場	科 目	集合時間	注意・説明	1時間目 (9:00～9:50)	2時間目 (10:10～11:00)	3時間目 (11:20～11:50)	4時間目 (12:10～12:40)
本 校	4科目受験	7:45～8:30	8:30～9:00	算数	国語	理科	社会
	2科目受験			算数	国語	※①	
	1科目受験			算数	※②		

※①2科目受験を選択した人は、2時間目の試験が終了後、帰宅となります。

※②1科目受験を選択した人は、1時間目の試験が終了後、帰宅となります。バスをご利用の場合、2時間目終了まで校内でお待ちください。

(2)持ち物 (本校は校舎内も外履きで生活するため、上履きを持参する必要はありません)

- ①受験票・受験票(控) ※受験票は、複数回受験する場合でも、毎回必ずお持ちください。
- ②筆記用具(鉛筆・消しゴム) ※英文や格言等の書かれているものは使用できません。
- ③腕時計(任意) ※通信機能・計算機能・辞書機能のないものに限りします。
- ④英検・漢検・数検の合格証明書(取得者のみ)
※各検定で「4級・3級・準2級以上」の合格証明書を持っている場合は、**合格証明書の原本とコピー1部**を持参し、朝の受付にて必ず提出してください。

(3)試験当日の注意事項

- 試験会場には**7時45分以降**、入室することができます。また、当日は保護者控室もありますので、希望の方はご利用ください。
- 1時間目の試験開始より20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。遅刻した場合は、最初に入試本部に申し出てください。
- 試験教室では、監督者の指示に従ってください。また、不正行為に対しては厳正に対処し、確認された場合は全科目無効とします。
- 試験当日、悪天候や災害による交通機関の遅延等が発生した場合は、必ず本校HPを確認してください。

【<https://www.sayamagaoka-h.ed.jp/>】

- 試験当日のスクールバスは、以下のように運行します。(スクールバスは付き添いの保護者の方も利用できます)

1月10日(日)・1月12日(火)		1月15日(金)・2月5日(金)※①			
箱根ヶ崎駅西口	入曽駅東口	箱根ヶ崎駅西口	入曽駅東口	狹山市駅東口	川越駅西口
7:45発	7:45発	8:00発	8:00発	7:45発	7:30発

※①1月15日と2月5日は、本校在校生向けスクールバスにご同乗ください。

※試験終了後、帰りのバスは全日程とも[箱根ヶ崎駅 / 入曽駅]の2方面に運行します。

※駐車場はありませんので、車での来校はご遠慮ください。

5 合格発表

- 合格発表は本校ホームページで行います。ただし、発表直後はアクセスが集中し、一時的に閲覧できなくなる可能性がありますのでご注意ください。
- ホームページ発表後、各自の教科得点および受験生全体の平均点を記載した「入学試験結果通知書」を郵送します。また、合格者には「入学手続金振込用紙等」を同封いたします。
- 可否に関するお問い合わせには応じられません。

6 入学手続方法

- 入学手続方法の詳細については、合格者に郵送する「入学手続について」の中に記載します。
- 指定した入学手続締切日までに、入学金および施設費を納入し、2月13日(土)に、本校で入学手続を行ってください。
- 入学手続(入学金等の納入)を期限までに行わない場合、入学を辞退したものとみなします。
- 一旦納入された入学金は、理由の如何に関わらず返金いたしません。

7 出願から入学手続きまでの流れ

- 出願期間中は、平日・土日・祝日を問わず、24時間いつでも出願手続きが可能です。
- 出願システム、操作に関するお問い合わせは、インターネットサイト「miraicompass(ミライコンパス)」にご連絡ください。
URL: <https://www.mirai-compass.jp.net>
- 受験料納入後の返金や入力変更はできません。**内容を十分に確認してからお支払いください。
- 受験料の納入には、クレジットカード支払い、コンビニエンスストア支払い、Pay-easy支払い、PayPay支払いなどがご利用いただけます。

出願から入学手続きまでの流れ

① 出願サイトへアクセス

出願期間が近くなりましたら本校ホームページに出願サイトへのリンクを掲載いたします。12月1日(火)0:00よりアクセスが可能となります。

② ID(メールアドレス)登録

メールアドレスをログインIDとして登録してください。緊急時には一斉メールで連絡することもありますので、すぐ確認いただけるメールアドレスを登録してください。説明会等の予約時にログインIDを登録済みの方は同じIDでログインが可能です。

③ ログイン/マイページ

登録したメールアドレスを使ってログインをすると、マイページが表示されます。「出願用顔写真を登録」ボタンを選択し、顔写真データをアップロードすると、受験票(控)に顔写真が印刷されます。

④ 出願情報入力

志願者情報を入力し、出願する試験を選択してください。**複数回同時出願する場合は、志望するすべての試験を選択してください。**

⑤ 受験料納入

受験料の納入には、クレジットカード支払い、コンビニエンスストア支払い、Pay-easy支払い、PayPay支払いなどがご利用いただけます。また、納入には別途手数料がかかります。納入完了後、支払い完了メールが届きます。**※支払い確定後、受験日等は一切変更できません。**

⑥ 受験票印刷 / 顔写真貼付

受験料支払い完了後、マイページから受験票を印刷(A4サイズ・白い用紙)し、受験票(控)に顔写真(カラー)を貼付してください。顔写真データをアップロードされた方は、受験票(控)の写真貼付欄に顔写真が印刷されます。

⑦ 試験当日

各自で印刷した受験票と受験票(控)を必ず持参してください。受験票(控)は、試験日当日の朝に回収いたします。また、英検・漢検・数検で4級以上の合格証明書を持っている場合は、**合格証明書の原本とコピー1部**を持参し、朝の受付にて必ず提出してください。

⑧ 合否発表

本校ホームページから「合格発表サイト」(miraicompass)にアクセスし、合否を確認してください。

⑨ 入学手続き

入学手続きの詳細な方法については、合格者に郵送する「入学手続きについて」を確認してください。

8 備考

- 指定感染症を含む学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(新型コロナウイルス、インフルエンザ等)に罹患した場合は、受験をご遠慮ください。
- 上記感染症に罹患した場合や発熱等の症状が出た場合は、狭山ヶ丘高等学校附属中学校渉外部へご連絡ください。

9 学費等納入費用

項 目	1年生	2年生	3年生	合 計
入学金	250,000円	—	—	250,000円
授業料	360,000円	360,000円	360,000円	1,080,000円
施設費	100,000円	—	—	100,000円
施設設備維持費	60,000円	60,000円	60,000円	180,000円
空調費	12,000円	12,000円	12,000円	36,000円
諸経費※①	110,000円	100,000円	100,000円	310,000円
修学旅行積立金※②	72,000円	72,000円	—	144,000円
制服・学校指定物品購入費※③	約200,000円	—	—	約200,000円
合 計	約1,164,000円	604,000円	532,000円	約2,300,000円

※①：校外学習、芸術鑑賞会、生徒会費等を含みます。2、3年次の諸経費は、2、3年次の6月からの授業料に加算して引き落とします。

※②：希望により、修学旅行費を積み立てることができます(昨年度：1年次6,000円×12ヶ月 / 2年次6,000円×12ヶ月)。

※③：Chromebook 購入費や制服・学校指定物品の購入費は今年度実績のものであり、価格の変更となる可能性があります。

※寄付金・学校債等は一切必要ありません。

※狭山ヶ丘高等学校へ入学する際、新たに入学金250,000円と施設費100,000円が必要になります。

10 制服等価格表(消費税込)

記載金額は2026年度のものであり、価格変動する場合があります。

<男子：指定品>

☐ ブレザー上衣	30,600円	☐ ズボン(冬用)	15,180円	☐ ズボン(夏用)	13,420円
☐ ネクタイ	2,550円	☐ ワイシャツ用転写マーク	380円	☐ 体育着(ジャージ上)	8,360円
☐ 体育着(ジャージ下)	5,280円	☐ 体育着(半袖シャツ)	4,510円	☐ 体育着(ハーフパンツ)	4,180円
☐ 体育館履	3,410円	☐ 通学カバン	10,800円		

<男子：希望購入品>

☐ 半袖ポロシャツ(白/紺)	各5,500円	☐ 冬ニットベスト	4,730円	☐ 冬ニットセーター	5,500円
☐ ベルト	1,900円	☐ 革靴	8,470円		

<女子：指定品>

☐ ブレザー上衣	28,600円	☐ スカート(冬用)	16,500円	☐ スカート(夏用)	14,520円
☐ スラックス(冬用)	15,180円	☐ スラックス(夏用)	13,420円	☐ 夏ニットベスト(白)	7,700円
☐ ネクタイ	2,550円	☐ ワイシャツ用転写マーク	380円	☐ 靴下(冬用)	880円
☐ 靴下(夏用)	880円	☐ 体育着(ジャージ上)	8,360円	☐ 体育着(ジャージ下)	5,280円
☐ 体育着(半袖シャツ)	4,510円	☐ 体育着(ハーフパンツ)	4,180円	☐ 体育館履	3,410円
☐ 通学カバン	10,800円				

女子の制服は「スカート」「スラックス」の片方のみのご購入でも構いません。また、両方ご購入いただき臨機に着用していただいても構いません。

<女子：希望購入品>

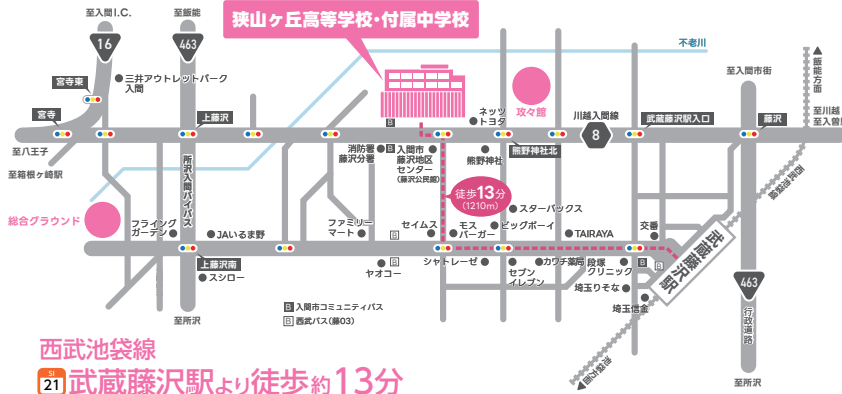
☐ 半袖ポロシャツ(白/紺)	各5,500円	☐ 夏ニットベスト(紺)	5,500円	☐ 冬ニットベスト	4,730円
☐ 冬ニットセーター	5,500円	☐ 革靴	7,370円		

【個人情報の取り扱いについて】

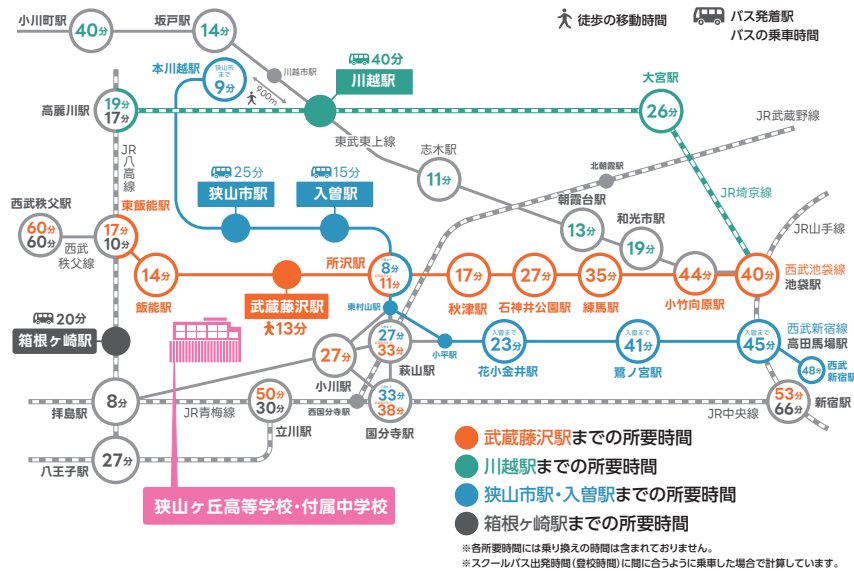
出願受付を通じて取得した氏名、住所等の個人情報は、本校における出願事務処理、書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格発表、合格した場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。他の目的での利用及び本校の関係教職員以外への提供は行いません。

インフォメーション

最寄駅からのアクセス



各主要駅からの所要時間



無料で利用できる/ スクールバス



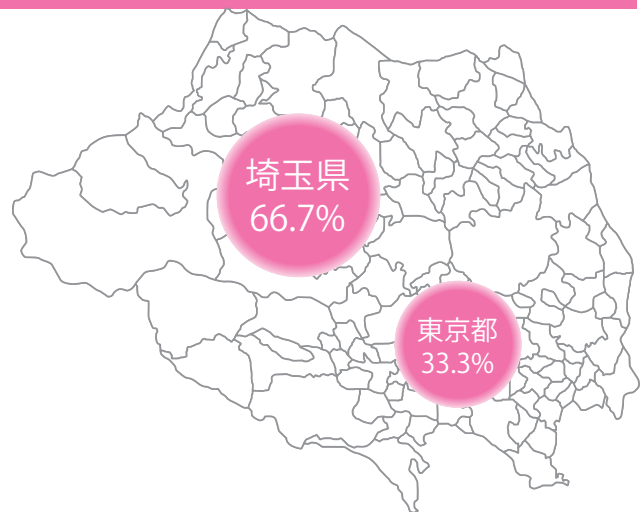
市区町村別人数一覧

主な市区町村

市区町村	人数	市区町村	人数
入間市	35 名	西多摩郡瑞穂町	6 名
所沢市	17 名	新座市	5 名
狭山市	11 名	川越市	5 名
練馬区	9 名	東久留米市	5 名
飯能市	8 名	秩父市	3 名
東村山市	8 名	小平市	3 名

その他の市区町村

○鶴ヶ島市	○清瀬市	○武蔵村山市	○秩父郡横瀬町	○羽村市	○青梅市	○八王子市	○豊島区
○日高市	○西東京市	○さいたま市	○あきる野市	○小金井市	○中野区	○福生市	など



INFORMATION

学校見学説明会 要予約

本校ウェブサイトよりご予約ください。
(予約なしの当日参加も可能です)

6月27日(土) 10:00～12:00

7月20日(月・祝) 10:00～13:00※

8月1日(土) 10:00～13:00※

9月6日(日) 10:00～11:00

10月3日(土) 10:00～12:00

11月7日(土) 10:00～12:00

12月5日(土) 10:00～12:00

※7月20日と8月1日は『体験授業』を行います。
体験授業への参加は必ず予約をしてください。

体育祭 一般公開

6月24日(水) 9:00～16:00

会場 ベルーナドーム

狭丘祭 一般公開

9月5日(土) 11:00～15:00
(最終受付14:30)

9月6日(日) 9:30～15:00
(最終受付14:00)

※今後の状況により、学校説明会などの日程や
内容、詳細情報が変更となることがございます。
最新情報は本校のホームページでご確認ください。

お願い

学校見学説明会や狭丘祭にお越しの際ですが、
駐車スペースはございませんので、お車でのご来
校はご遠慮ください。ご理解とご協力の程、よろし
くお願い申し上げます。



学校法人 狭山ヶ丘学園

狭山ヶ丘 高等学校 附属中学校

〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢981

TEL 04-2962-3844

FAX 04-2962-0656

